

1. 研究の背景と目的

附属小学校社会科では、「未来に生きて働く探究力と省察性の育成」を掲げ、思考の見える化や評価に着目した研究を行っている。本研究はその研究の一環として、子どもの見方・考え方の変容・深まりが見られた場面に着目し、学習課題（主体）、学習の場（協働）、見方・考え方の基盤となる知識（活用）をキーワードに、子どもの見方・考え方の変容・深まりが生まれる条件を探索的に探る。

2. 分析対象授業

子どもの見方・考え方の変容・深まりが見られた場面を検討するために、附属小学校 6C 授業「江戸幕府 260 年のなぞにせまろう～吉宗と宗春の政治」（西川恭矢先生。2020 年 10 月 21 日実施。10 月 31 日の教育研究発表会での提案授業）を取りあげる。この授業では、徳川吉宗の政治と宗春の政治を比較しながら、「徳川吉宗は優れたリーダーといえるのか？」について話し合った。授業プロトコル（一部抜粋）を次ページ表 1 に示す。

3. 見方・考え方の変容—個人に着目して—

授業における子どもたちの見方・考え方の変容を検討するために、ハ・ヘ（記号は、表 1（授業プロトコル）参照）の 2 人について検討してみたい。

ハは、6 で、吉宗の政治は「民衆にとって悪」であるが、「自分たちの日本、ま、江戸幕府が、やばい状態やから、それをなおすためには、もう、Yes（吉宗は優れたリーダーである）」という理由から、「もうどっちをとったらいいかかわらん」と述べている。「優れたリーダーか否か」という問いに対する答えは、被支配者である民衆か為政者かという立場によって異なるという考えといえよう。それが、話し合いの終盤 30 では、「尾張に慣れ、その後、江戸に変わると…」と民衆をただ支配されるだけの存在から封建制の下でも一定の移動の自由を有していた存在としてとらえ直し、また、政策が及ぼしうる影響について時系列で考え、表現している。

ヘは、14（14 は同じ班のトの発言であるが、トは発言の直前にヘと打ち合わせをしており、ヘの考えとしても差し支えないと考えられる）で、吉宗の政治を「幕府を立て直すために」行ったものとしているが、21 では目安箱と町火消に触れ、「（民衆の）命

に関わること」は政策として行われていることを指摘し、「命だけを救って、…楽しみのない（吉宗の政治は）いけない」ということと対立している。吉宗の政治を、宗春のそれとの比較から、「幕府を立て直すため」と認識していたが、目安箱と町火消について、命に関わることについて民衆の意見を受け入れているという解釈をつくり、吉宗の政治について新たな認識を構築しようとしている姿であるととらえることができよう。

このように、授業を通して子どもたちは、吉宗の政治について、その影響をより長期的な時間軸のなかで考えたり、質素儉約という 1 つの政策だけではなく、複数の政策から考えようとしている。これは、吉宗の政治という歴史的事象に対して、考え方が深まったり、広がったりしている姿であるといえるだろう。それでは、このような見方・考え方の変容は、どのようにしてもたらされたのだろうか。以下、項を改め、見方・考え方の変容をもたらしした集団思考（学習の場＝協働）について考察する。

4. 見方・考え方の変容をもたらしした集団思考

前項で、本時における見方・考え方の変容として、政策評価における時間軸の導入と、「幕府のための政治か、民衆のための政治か」という問いを、「吉宗の政治は本当に幕府のためだけのものだったのか」という問いに置き換えることで、複数の政策からその政治を評価していることを指摘した。学級での話し合いという集団思考のなかでこのような変容をリードした存在として、□の話し合いに果たした役割は非常に大きい。票 1 の再掲になるが、□の発言要旨を改めて拾ってみよう。

16：民衆を取るか、幕府の未来を取るか。民衆の未来を取るか、幕府の未来を取るか。

19：吉宗の方が民衆を考えてる。ちゃんと、意見を取り入れてってやってる。

16 の発言は、15T「民衆の視点で考えたら…吉宗の政治って、どうなの？」という問いに対してのものであるが、挙手→教師による指名を経ての発言ではなく、つぶやきに近い。この発言が興味深いのは、14 トの「幕府を立て直すため」と「民衆のために、お祭りとか、楽しい生活をさせた」という対立軸が、民衆（の現在）か幕府の未来かという時間軸においてねじれのあるものであることを指摘し、（意識的にはなかったかもしれないが）「民衆の未来をと

表 1 分析対象授業プロトコル(一部抜粋)

(数字(1~30)は発言順、記号(イ~ヌ)は児童名を示す。)

<p>【場面 1】 資料を読んで考えたことの伝え合いから問いが設定される場面</p>	<p>になって、どんどん…逆に、景気とかも悪くなって、民衆のためを考えるなら、僕は、No かなって、思いました。(C:うーん)</p>
<p>1イ: えっと、私が思ったことは、吉宗って、だめだめだめだめって、ずっと言い続けてるやん、民衆に。(C:うん)でも、えっと宗春は、あの、民衆に自由度が高い生活をさせてるやん? だから、まあ、最高のリーダーって言われてたんやろうけど、でも、私は、吉宗の方が正しいと思ってるんよ。(T:おうおう) だって、これは、江戸のためやん?(C:うん) だから、やっぱり、自分…の、まあ、住むところに、あの、なんて言うん? まあ、言ったら、日本を守る、みたいな感じやん?(C:うん)。だから、私は、吉宗の方が正しいと思います。</p>	<p>9T: いいリーダーって、言えるんって。(C:でもさ、…)って、思うことあるね。じゃあさ、あと1人だけちよつとこっち(Yes)聞かせて。…いつもなんか、こっち(No)貼ってるイメージなんやけど(C:笑い)突き抜けた? じゃあ、教えて。</p>
<p>2T: なるほど。じゃあ、ちよつと教えて。はい、ああ、ちよつと待って。ごめん(口を指名)</p>	<p>10ホ: やっぱり、確かに、宗春とかについて、そういう考えじゃなくて、そこ1個じゃなくて、多分他も何個かあったと思うねんな。で、それに対して多分、吉宗は、反対とかはしないけど、財政がピンチな今やるのはおかしいとか(C:あー)。で、なんかいろんな政策を、自分が、将軍がして、財政を楽にしてから、そういうのを好きだけ盛大にやればいって思ってたから、まあ、Yes。</p>
<p>3口: えっと、私は、この状況がすごい、今に似てるなって思ったんよ。(C:あー)みんな気づいたかもしれへんけど、民衆の声っていうところに、今まで楽しみだった祭りや芝居が禁止されるしって書いてあるやん。(C:うん)これは、コロナのせいで、いろいろ、イベントがなくなって、で、やる事がなくなってしまった、私たちに似てる気がするんよ。それにその下の宗春さんが言ってる、「お金をたくさん使って、社会を元気にあるのではないか」って言ってるところがあるやん。これは Goto トラベルに似てるんじゃないかって。だから、Goto トラベルって、賛成の人も反対の人もいるやん? それもけっこう半々ぐらいやから、このときの民衆の声も、半々ぐらいだったんじゃないかなって思いました。</p>	<p>【場面 3】 グループで考えたことをもとに話し合う場面</p>
<p>4T: ちよつと待って。みんなじゃあさ、吉宗ってすぐれたリーダーやったけど、すぐれたリーダーでいい? そうとは言い切れなさそう?(C:うーん。吉宗って…口々に言う)じゃあね、今日はみんなでこれ考えていこ。(板書:学習問題)じゃあ、ちよつとこれ、まとめていきますね。(板書:徳川宗春は本当にすぐれたリーダーといえるのだろうか?)</p>	<p>11ハ: もう、決まらん!</p>
<p>【場面 2】 問いに対する個人の考えを伝え合う場面</p>	<p>12T: 4班。わからへん。(ハ:うん)じゃあ、4班さん、どんな話し合いになったか、教えてくれやん。</p>
<p>5T: でさー、全然わからへんって言ってたやん。(ハ:全然わからへん。)ちよつと、気持ち教えて。まん中置いてるん?</p> <p>6ハ: だってさ、No やったら、民衆にとって悪やんか。(C:うん)けど、Yes やったら、自分たちの日本、ま、江戸幕府が、やばい状態やから、それをなおすためには、もう、Yes やから、もうどっちをとったらいいかわからん(C:あー、私も…)</p>	<p>13へ: ぼく?(C:笑い)(同じ班のトと話す。へ:どうぞ。トが立つ)</p>
<p>7T: ちよつと、じゃあ、さ、みんな、聞きたい意見ある?(C:二、なんか…)二…聞きます? はい、お願いします。</p>	<p>14ト: えっと、僕たちの班は、その、吉宗は、幕府を立て直すために、あの、行ったやんか、政治を。(C:うん)けど、その、ヨシハルやったっけ、ヨシハルはその…(C:宗春)あ、宗春は、その、民衆のためにさあ、お祭りとか、楽しい生活をさせたやんか(C:うん)。で、民衆から見たら、そら、宗春?の方がいいリーダーかもやけど、その、幕府を立て直すために行った政治っていうの比べたら、吉宗の方が、いいリーダーやから、どっちかわからん。民衆のためか…</p>
<p>8ニ: えっと、僕は、Yes より No の気持ちの方が多くて…、なぜかという、なに、そういう、自分の好きなこととか、例えば、映画見に行くと、その映画がなくなるとか、そういう、自分のいやなことが、なに、どんどん溜まってしまうと、ストレス</p>	<p>15T: えー、その民衆って視点で考えたら、…吉宗の政治って、どうなの?</p>
	<p>16口: 民衆を取るか、幕府の未来を取るか。民衆の未来を取るか、幕府の未来を取るか。</p>
	<p>17チ: そう。民衆の未来か、幕府の未来か。</p>
	<p>18T: どうぞ。</p>
	<p>19口: 私は逆に、吉宗の方が民衆を考えてると思って、で、なんでかって言ったら、まあ、あの、吉宗がした政治ってさあ、この、全部、だめ、だめ、だめってだけじゃないやん。(C:うん)ちゃんと聞いて、ちゃんと、意見を取り入れてってやってるわけやん。(C:うん)そこで、きっと、全部だめなのは、おかしいだろって、だれか民衆がひとりでも言ったら、きっと、見直してくれたと思うんよ。ま、事実を知らんから、そう言えるだけやけど、まあ、きっと見てくれたと思うから、そこで、裏だけで、文句言っているでも、おかしいんじゃないかなって思いました。</p>
	<p>20T: なるほど。じゃあ、事実を教えたいと思います。実は、目安箱に入れられてます。民衆から。(口:やっぱり)ちよつと</p>

生活しんどすぎます、やめてくださいって目安箱に投函されてます。だから吉宗さんも自分がやってることに対して、民衆がしんどがってる、不満を持ってるっていう、まあ、そんな声ばかりじゃないかもしれんけどね、一部にそんな声があるっていうんは、わかってました。(C:知ってる。知ってるけど、やってなかったん)わかってたのに改善せんかったん。いいリーダー？(C:いいリーダーって…。□:でも、取り入れた意見があるから)ああ、取り入れた意見があるから大丈夫？(C:その他の意見が…)はい、どうぞ。

21 へ:取り入れた意見って、例えば、消防隊とか、それって、命のやつやん。(C:うん)これは、今の、入れるやつは、命じゃなくて、苦しいとかいうやつだから、(C:苦しいも、いちお、命じゃん)苦しいも命だけど、火災の方が命に関わること、だから、受け入れたんじゃないかなって思います。

(略)

22 二:えっと、そういう、なに？人に、民衆を、さっき□さんも言ってたけど、その何、命だけを救ってっていうんかな、命、最低限のことをして、それで、その、でも、楽しみがないとさ、人って、あんまり、人っていうか、あんまり、楽しくないと思うんよ、生活が。(C:うん)だから、その、僕は、僕は、宗春の意見を、意見がいいと思って、あの、たとえ、苦しむ人が、いるかわからんけど、あの、いやがってる人を無視して、その民衆の意見を、取り入れたのもあると思うけど、取り入れてない、あの、楽しみのない生活はいけないうんじゃないかと思えます。(C:口々に…)

(略)

23T:じゃあ、みんな、両方の現状知ってさあ、みんなやったらどっち行く？(C:尾張、江戸、口々に)じゃあ、手挙げてもらお。尾張行くっていう人？(C:はい)、江戸に行く人？(C:はい)、え、すご。(C:祭りがきれい)。思ってること言っ。はい、どうぞ。

24二:えっと、例えば、え、なんでさ、え、何？自分のいやなことを優先して、あの、尾張は絶対楽しいやん。(C:うん)あの、ダンス。ダンス？(T:ちょっと。尾張は楽しいはOKなん、みんな？ C:うん)尾張の方が。絶対楽しいのに、なんでそんな、なに？(C:質素に)民衆たちも2万人は尾張に

行ったって、書いてあるやん。資料に。(C:うん)だから、民衆からしたら、絶対、尾張に行く方が楽しいやん。だから、なのに、なんで、そういう尾張に行かない人が多いんかなって。え、普通、自分のことって言うか、普通に考えたら、絶対、尾張の方がさ、なに、生活が充実してるやん(C:うん)。だから、制限もないし、だから、なぜ尾張に行かないのかなあって。(C:はい)

25リ:えっと、僕は、吉宗の方なんやけど、あの理由は、お金をじゃんじゃん使うやんか、そうになったら。みんなが。そしてさあ、国の金がなくなっていくやん。そしたら、のちに、また、どんどん削れていくやんか、お金が。だから、まあ、あの、二さんが楽しむ方がいいって言ってるけど、(C:尾張)尾張？(C:うん)尾張の方がいいって言ってるけど、でも、なんか、あの、なんて言ったらいいん？あの、充実しすぎたら、なんか、ずっとそこにおる？ おっても、のちに多分つぶれるから、だからまあ、ずっと節約っていったらいいんかな、それの方がいいと思いました。

26C:はい。はい。

27T:はい。どうぞ。

28又:えっと、ぼくは、まあ、江戸の方で、理由は、尾張に行っても、お金いっぱい使っって言ってくれたんやけど、まあ、僕も、それ同じで、どんどんお金使っっていったら、あの、国の、お金が、なくなってきた、どっちみち、あの、国が？ 貧乏になってくるやん(C:うん)。だから、また、貧乏になって、江戸に行く人もおるかもしれんから、そういうときには、そういうときになったら、もう、なんていうの？ 尾張の生活が馴染みすぎて、(C:あー)なんていうん？(C:あー)なれやんっていうか、(C:くる…しい…)

29T:え、どういう意味？ ちょっとどういうこと？ はい。

30ハ:えっと、もし、尾張に、なんかそっちの方が楽しいし、充実してるから、住むとするやんか。(C:うん)そのときに、貧乏になってもうて、さあ、江戸に戻ったとするやん？(C:うん) ったら、尾張って遊ぶ文化やん？ だいたい。江戸って、尾張よりちょっと苦しいから、あの、その、尾張で、慣れたから…身が急に、江戸が変わったときに、そのストレスが、すごくたまる。(T:あー、C:でも、だけど…)

るか、幕府の未来をとるか」と言い換え、時間軸をそろえようとしていることである。この発言が 25リ(宗春の政治によって、未来がどうなるのか)、28又・30ハ(宗春の政治が失敗した場合の民衆への影響)へとつながっていると考えられる。

□のもう1つの発言、19は、宗春の政治＝民衆のための政治、吉宗の政治＝幕府のための政治という、これまでの話し合いでの前提を覆し、「吉宗の方が民衆を考えてる」とするものである。この意見が引き金となって、20Tによる情報提供を経て、21へ(取

り入れた意見は、命に関わること)という吉宗の政治に対する再評価と、22二(民衆の意見を取り入れていない楽しみのない生活はいけないう)という意見との鋭い対立を生み、学級全体の探究へと向かうエネルギーとなっている。

5. 集団思考を深めるために

「1. 研究の背景と目的」で述べたように、附属小学校では、子どもの見方・考え方の変容・深まりをもたらすものとして、学習課題、学習の場、見方・考

え方の基盤となる知識の3つを設定している。これらのうち、見方・考え方の基盤となる知識については、分析対象授業でも吉宗の政治について、幕政を立て直すための質素儉約だけでなく、目安箱や町火消しという知識も活用することで、集団思考という学習の場において、より話し合いが深まることが確認できた。

ここでは、学習課題に対して、前項でも取りあげた、口の16、19の発言をもとに考察したい。

16では、民衆の現在か幕府の未来かという問いが、民衆の未来か幕府の未来かと言い直され、政策をその影響から評価する25リ、28又の発言につながっている。「吉宗はすぐれたリーダーといえるのか？」という価値判断の問いに対し、その判断のもととなる事項を揃えることが、探究の深まりにつながることを示していると言えるだろう。

19は「吉宗の方が民衆を考えている」という新たな仮説の提示であるが、20Tによって、「吉宗も自分がやってることに対して、民衆が不満を持っていていうんはわかっていたが、改善せんかった」という、子どもたちのもつ「吉宗＝すぐれたリーダー」という認識と矛盾する新たな情報の提示によって学びの場を活性化させ、吉宗の政治に対する認識の広がりをもたらしている。月並みではあるが、子どもの既有的な認識をゆさぶる情報提示と、広がりのある学習課題を設定することの重要性を示す事例と言えよう。

6. おわりに

本稿では、子どもの社会的な見方・考え方をもちたらずものとして、集団思考の場における発言をもとに、既有知識の活用や学習課題の設定について考察してきた。紙幅の関係で論じきれなかったものが、集団思考の場づくりである。西川学級では、コロナ禍であったにもかかわらず、4月当初より「子供たちが学ぶ『集団の在り方』」について学級通信等を通じて子どものみならず保護者とも対話を続けるとともに、授業再開後の6月から、さまざまな価値判断課題への取り組みを重ねてきている。しかしながら、それぞれの意見の言いっ放しでなく、意見の対立とそれをもとにした学びの深まりが見られるようになるまでには、学級経営と授業経営（授業の手立て）の両方で、西川先生によるさまざまな取り組みがなされている。本時で見られたような、教師が設定した問いを自分たちで組みかえ、思考を深めていく子どもの姿は、教師の地道な取り組みによってつくられていることを強調しておきたい。